



特定非営利活動法人共同子育て広場おひさま（以下「おひさま」）は、1986年以来活動をすすめてきたすぎの子共同保育所の保育実践をベースに、新しく地域の子育て支援センターとしての役割を担いたいと2005年6月24日に設立認証されたNPO法人です。

おひさま通信は、会員や地域の方々を結ぶ機関誌として、おひさまの諸行事の案内や報告、すぎの子共同保育所の子どもたちの様子などを掲載しています（季刊）。

総会報告

特定非営利活動法人共同子育て広場おひさま 第7回通常総会開催 —すぎの子共同保育所がずっと続いていくために—



かわいい子どもの話に思わずニコニコ

2010年5月22日（土）13時30分より、すぎの子共同保育所で第7回通常総会が開催されました。

平成21年度事業では、保育事業は、補助金の減額など、経営面では厳しい年となりましたが、すぎの子共同保育所の保育が、「めざす子ども像」（丈夫なからだの子・豊かな感情を持った子・自分で考え行動する子・友だちを大切にする子）にそった、さらに充実したものになってきていること、園開放事業では、リピーターも多く好評を得ていることなどが報告されました。また、他園や他団体と共に実行委員会を立ち上げた中国四国無認可保育所交流集会や共保まつり、フリーマーケット形式の新しい形を取り入れたおひさままつりなど、これまでにない交流ができたのも大きな成果でした。

平成22年度事業方針・事業計画案では、保育事業については、各クラス担任・給食室から保育や子どもたちの様子が伝えられました。施設長からは、子どもがどんなことを感じているかを大人が観ていく大切さが伝えられ、職員も保護者と一緒に子育てが楽しくなるように協力していきたいと話がありました。緊張しながらも一生懸命子どもたちの様子を伝えようとする職員と、ほほえましい保育所での子どもたちの姿に、耳を傾ける保護者から笑いがおこる場面もありました。

平成22年度予算案では、債券返済として、11名4,000,000円を予定していること、引き続き会員拡大と会費納入の呼びかけをしていくことが話されました。また、今後さらに情勢を見て、職員の給与待遇の見直しや園児募集・数年先の経営の見直しなどをしていく計画が提案されました。

安本理事長より、現在、保育がこの園舎でできているのは、新園舎建設の際に、卒園児、卒園児保護者やおひさまを応援したいという多くの方々の寄付や債券が寄せられた結果であり、今後の債券返済とともに、10年・20年先の事業存続のため、これからも協力をお願いしたいと締めくくられました。

審議の後、平成21年度事業・収支決算報告、平成22年度事業計画案・予算案について全会一致で承認され、新しい年度に踏み出しました。

毎年、おひさま総会では、保育の話をついばいします。在園保護者にとっては、普段の保育所での生活やお友だちや職員との関わりを知るとても良い機会となっています。子育て講演会や10月30日（土）にはおまつりも予定しています。子どもにとっても、大人にとっても、地域にとっても大切な場所になればと思います。ぜひお越しください。

当日参加者 会員 30名 一般4名 委任状提出 18名
(正会員 総数55名 2010年3月31日現在)



理事長のお話



総会後も担任と子どもの話がほぞみます

ご案内

みなさんの力でおひさまの活動を支えてください

★会員募集 子育てが楽しくなる、子どもの目が生き生きと輝く活動に取り組みます。行事に参加できる、できないに関わらずおひさまを応援したいという方など、入会をお待ちしております。

【年会費】 ★正会員：5000円（入会金：なし） ★賛助会員：一口1000円（入会金：なし）
【会員特典】 ☆総会決議権（正会員のみ） ☆おひさま通信配布（年3回）
☆イベント割引（例：園開放通常参加費大人300円⇒100円）

★債権返済始まりました 新園舎建設に2165万円の債権を寄せていただきました。

2010年4月から債券返済が始まり、今年度420万円の返済を終えることができました。次年度から年間150万前後を返済予定です。おひさま・すぎの子共同保育所が、これからも子育て支援の拠点として存続するよう、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

★寄付のお願い 引き続き寄付をお受けしております。



【会費、寄付振込口座および振込名義】
郵便振替口座 01610-2-93045
口座名称 特定非営利活動法人共同子育て広場

2010.10.1現在：正会員61名 賛助会員9名



園開放事業報告

～身近な自然を感じて～

毎月、第1・3土曜日に行っている園開放では、参加者からいただいた声を参考に、新しい企画を実施しています。6月5日の園開放は、以前から「子どもとどう散歩したらいいかわからない。」「保育所では、どんな散歩を楽しんでいるのか？」などの声をうけて、「お散歩をしよう！」を企画しました。

当日は約15組もの参加があり、保育所周辺のお散歩コースをゆっくり歩きながら、道端の草花をみつけてはしゃいだり、ふあ〜と風が吹くたびに足をとめたりと、親子でゆったりとおさんぽを楽しむ姿が見られました。

参加者からは、「イネの生長、野菜の生長をじっくり観察でき、普段目にとまらないところに、歩くことによって気づいた。」「参加者とおしゃべりしながら、歩いたのが親自身楽しかった。」「子どもと一緒にたまたまじゃくしをみたり、花をつんだり、ゆっくりできてよかった。」との声をいただきました。



おひさまは こんなこともしています

特定非営利活動に係わる事業として

- 1) 保育事業
※「職員と保護者が共同して子どもの保育に関わる」保育所を目指します。
- 2) 子どもの育児相談
(発達に関する相談を含む) 事業
※電話相談受付時間 13:00~16:00
- 3) 保護者に対する子どもの健全育成のための啓発事業
※子育て講演会・園開放事業 等
- 4) 障害児(者)の保育や発達に関する相談事業

ボランティア募集

もっとたくさんの人におひさまをってもらい、活動を広げていくためにボランティアを募っています。

ボランティアさんの声

- ◇保育のお手伝い (要保育士資格)
- ◇事務局のお手伝い (印刷や発送などの作業)
- ◇おひさま通信の編集
- ◇園開放事業スタッフ (受付・準備・広報など)
- ◇畑作業のお手伝い 等...

入園当初、保護者の方が保育している姿を見てうらやましく思っていたので、今回念願の保育ボランティアのお手伝いができ、すごく楽しませてもらいました。遊んでばかりでしたが、幼い子と接する事によって、すごくこちらのほうが癒され、忙しい毎日の中で、時間が止まったように楽しませてもらいました。これからも機会があったら参加させてもらいたいです。 在園 河野



保育目標

- 丈夫なからだの子
- 豊かな感情をもった子
- 自分で考え行動する子
- 友だちを大切にする子

ちきゅうぐみみんなでおよげたなあ!! ～仲間の中で育ちあう5歳児～



5歳児地球組は、男の子7名女の子7名、計14名のクラスです。プールが始まったころは、顔をつけるのが怖い、身体を浮かすことができないなど個人差がありました。そこで、プールで心身を解放してあそんだり、もぐり方や泳ぎ方を教えあったりする中で、できなかったことができるようになる喜びや、仲間と工夫して遊ぶことの楽しさを感じてほしいと思いました。毎日プールに入ること、顔に水がかかるのを嫌がっていた子も少しずつ水への抵抗もなくなってきて、楽しめるようになってきました。そこで「地球組全員が泳げるようになる」「泳げる子はプールの端から端まで泳げるようになる」この二つを地球組の目標にしました。目標を決めることで子ども自身、「みんなみたいにあそばたしながら、およぎたい」と繰り返し挑戦する姿が見られました。

みんなていっしょにおよごう!

ある日、毎日ワニ泳ぎで顔をつける練習をしていたAちゃんが、「およげたー!!みんなみたいにぶかーってできたよ!!」と大きな声で言いました。今まで水がかかっただけで泣いていたAちゃんが身体力を抜いて水の中で浮き、そして足を動かすと前に進むことができたのです。それを見た全員が大喜びしました。翌日…浮かない表情で登所したBちゃん。話を聞いたところ「Aちゃんがおよげたんはうれしかったけど、Bだけがまだおよげんのがくやしい」と泣き出しました。BちゃんはAちゃんと毎日、浅瀬で一緒に泳げるように練習していたので自分だけ泳げないことにつらくなっていたのです。Bちゃんの気持ちを知った仲間は「ほなけんつらかったんやなあ」「いっしょにわにおよぎとかしようだ」「みんなおるよ」の言葉に少しずつ笑顔も見られました。この日のプールでは仲間がBちゃんの所に行って手を持ち、足の力を抜く方法など一つ一つ丁寧に教えていました。少しずつ足の力を抜く感覚がつかめてきたBちゃんは、その日のプールの後仲間に「おもっしょかったなー!あしたもプールでいっばいあそぼうな!ほんでおしえてよ!!」と笑顔で話していました。次の日から、ワニ泳ぎをしながら足の力を抜いて顔つけをしたり、仲間が両手を持ってBちゃんが全身を浮かせてみたり、毎日泳げるようになりたいと練習し、プールが終わるころには端から端まで泳げるようになり、上向きでも身体力を抜いて浮けるようになりました。

このプールの取り組みを通し、課題や目標に向かって自分の気持ちを「やってみようかな…できるかもしれん」とコントロールしながら取り組んだり、仲間と励ましあい教えあう中で挑戦する意欲が高まってきたり…。今まで躊躇していたことにも自信を持って取り組む姿も見られるようになり、子ども達はひと回り体も心も大きくなりました。生活やあそびを仲間と考へ工夫し様々な方法を探りながら進めていく年長児。仲間とともに力を合わせて乗り越えた貴重な経験は、後半の生活やあそび、そして運動会、生活発表会へとつながっていきます。活動やあそびの中で、仲間のことを考えてきた地球組の子ども達。保育所生活も後、半年余りとなりましたが、14人であそび、生活できることを楽しみながら、過ごしていきたいと思ひます。

ゆっくりかおつけて…
そろそろ!できたぞ!



おにごっこしよう!たれかオニになる?
さいちょうじゃんけんしてきめよう!



みんなで作った流れるプール!
「うわあ!ながされそう!」



にーらめっこしましよ!
あろたらまけよ!まっぴがっ!

2010年度 子育て講演会 就学を見通した幼児期の子育て ～ 幼児期の生活の中で大切にしたいこと ～

小学校に上がる前、大人も子どももわくわくする気持ちと同時に「お友だちができるかな」「勉強はわかるかな」などの不安な気持ちも出てきます。来春の入学を前に、それまでに身につけておきたい力は何なのか、年齢毎にできることは何か、小学校生活で大切なことなどを小学校教諭の小池民世さんとすぎの子共同保育所施設長の武市史さんにお話していただきます。ぜひご参加ください。詳細は保育所にお問い合わせ下さい。

日時 2010年11月6日(土) 午前9時30分～11時
場所 すぎの子共同保育所

すぎの子共同保育所は、共同運営・共同保育を通して、子どもと子育ての夢を育てるところです。

HP <http://kyoho.org/>

